



自由民権資料館2021年度第1回特別展 「町田と江戸～ヒトとモノの交流史～」		主催 町田市立 自由民権資料館
<p>巨大都市江戸の周辺に位置していた町田地域の村むらは、都市の大量消費を支える後背地としての役割を担う一方、江戸からの情報や生活・文化の影響も大きく受けました。今回の展示では、巨大都市江戸と周辺地域の村むらとの相互関係に注目して紹介します。</p>		
日時	7月17日(土)～9月5日(日) 9:00～16:30 休館日:月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)	 <p>「江戸町鑑(えどちょうかん)」(上) (出典:小川・佐藤晃(博)家) 「袖玉武鑑(しゅうぎよくぶかん)」(下) (出典:下小山田・若林家)</p>
会場	町田市立自由民権資料館 企画展示室 (町田市野津田町897)	
費用	無料	
問合せ	042-734-4508/FAX 042-734-4546 (町田市立自由民権資料館)	

【さがまちカレッジ】 養蚕村から政令市へ ～相模原の近現代～		主催 さがまち コンソーシアム
<p>水利に乏しい畑作の台地であった相模原は、明治時代以降養蚕村として発達しました。昭和期に入ると、平坦で人家の少ない相模原台地に陸軍士官学校等さまざまな陸軍施設が建設され「軍都」と化しました。戦後は、昭和29年に人口8万人で市制を施行し、首都圏整備法市街地開発区域の適用を受けると、全国でもまれに見る急速な都市化が進み、さらに平成期には、人口70万人を擁する政令市に移行しました。この講座では、戦后市制を施行し、政令市となった日本で唯一のまち相模原の変貌ぶりを地理的に概観していきます。</p>		
日時	8月27日(金) 14:00～16:00	<p>【講師】 桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授 浜田 弘明 氏</p> <p>【申込先】 *郵送 〒252-0307 相模原市南区文京2-1-1 *FAX 042-703-8536</p> <p>※受講申込書は、ホームページからダウンロード、または、町田市・相模原市の公共施設で配布しています。 ※受講の際はマスク着用をお願いいたします。 ※9月11日(土)14:00～15:00 ユニコムプラザさがみはらにて、本講座と連携して「オーサーズカフェ『戦後相模原の都市化と産業・経済』」が行われます。(申込不要)</p>  <p>さがまちカレッジ</p>
会場	ユニコムプラザさがみはら (相模原市南区相模大野3-3-2 bono相模大野サウスモール3階)	
対象	高校生以上の方	
定員	35名(申込順)	
費用	1,500円	
申込	郵送またはFAXで、受講申込書をさがまちコンソーシアム事務局へ。 ※ウェブ申込も可( <a href="https://sagamachi.jp/manabi/consuniv/index.html">https://sagamachi.jp/manabi/consuniv/index.html</a> )	
問合せ	042-747-9038 メール info@sagamachi.jp (さがまちコンソーシアム事務局(相模原・町田大学地域コンソーシアム))	